

1 平成24年の結果概要

平成24年における福島県内の規模5人以上の事業所の賃金、労働時間及び雇用の動きを毎月勤労統計調査結果からみると、その概要は次のとおりである。

(1) 賃金

平成24年の常用労働者1人当たり月平均の「現金給与総額」は、調査産業計で295,212円（対前年比0.9%減）となり、3年ぶりに減少している（図1、表1）。

(2) 労働時間

ア 総実労働時間

平成24年の常用労働者1人当たり月平均の「総実労働時間」は、調査産業計で154.4時間（対前年比0.1%減）となり、3年ぶりに減少している（図1、表1）。

イ 所定外労働時間

平成24年の常用労働者1人当たり月平均の「所定外労働時間」は、調査産業計で9.7時間（対前年比1.7%減）となり、2年連続で減少している（表1）。

(3) 雇用

平成24年の月平均の「常用労働者数」（推計）は、調査産業計で652,725人となり（対前年比6.2%増）、常用雇用指数（平成22年平均＝100）は99.2で、4年ぶりに増加している（図1、表1）。

図1 主要な指数の推移(調査産業計、事業所規模5人以上)

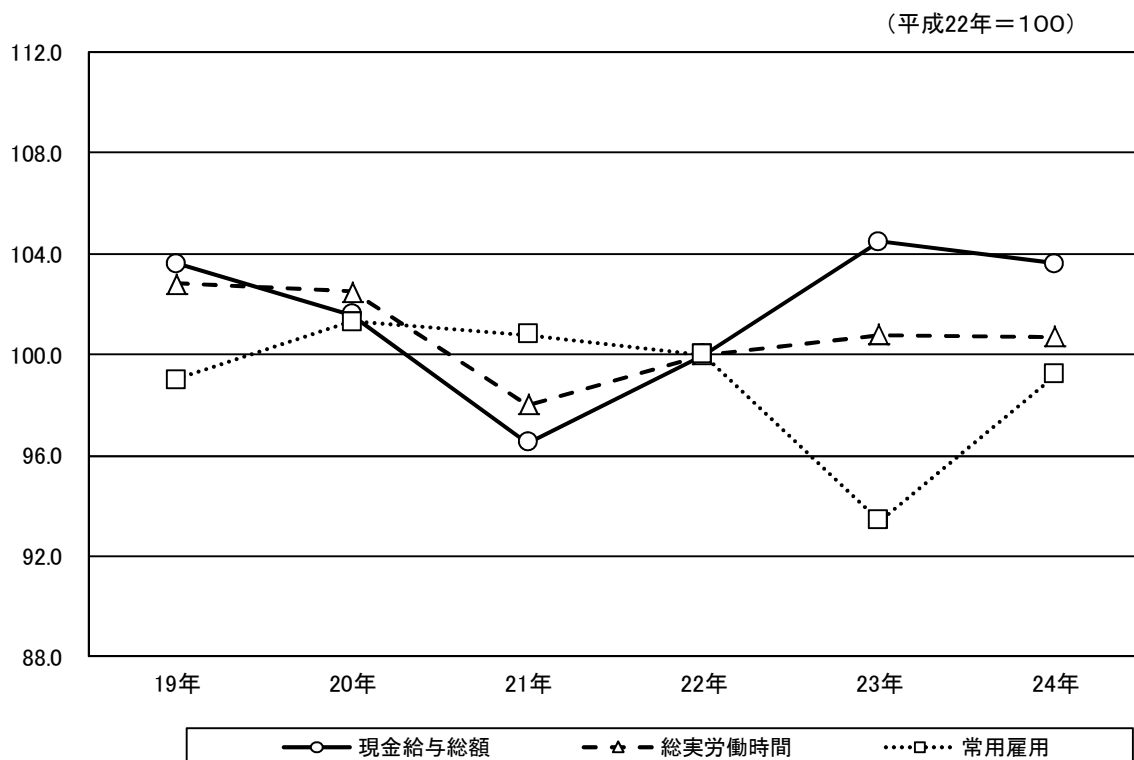


表1 賃金・労働時間・雇用の動き

(調査産業計、事業所規模5人以上)

(平成22年を100とする指数)

		19年	20年	21年	22年	23年	24年	24年実数
賃金	現金給与総額	103.6	101.6	96.5	100.0	104.5	103.6	295,212
	対前年比(%)	△ 5.2	△ 2.0	△ 5.1	3.7	4.5	△ 0.9	(円)
	きまって支給する給与	102.0	101.2	97.0	100.0	102.5	101.8	247,230
	対前年比(%)	△ 4.0	△ 0.8	△ 4.2	3.2	2.5	△ 0.7	(円)
労働時間	出勤日数(実数)	20.1	20.1	19.7	19.9	19.9	19.8	19.8
	対前年差(日)	△ 0.1	0.0	△ 0.4	0.2	0.0	△ 0.1	(日)
	総実労働時間	102.8	102.5	98.0	100.0	100.8	100.7	154.4
	対前年比(%)	△ 0.9	△ 0.3	△ 4.3	1.9	0.8	△ 0.1	(時間)
	所定内労働時間	102.2	102.2	99.1	100.0	101.3	101.2	144.7
	対前年比(%)	△ 1.5	0.1	△ 3.1	1.0	1.3	△ 0.1	(時間)
	所定外労働時間	111.6	107.0	83.1	100.0	94.5	92.9	9.7
	対前年比(%)	7.2	△ 4.1	△ 22.3	20.3	△ 5.4	△ 1.7	(時間)
雇用	常用労働者数	99.0	101.3	100.8	100.0	93.4	99.2	652,725
	対前年比(%)	2.8	2.3	△ 0.5	△ 0.8	△ 6.6	6.2	(人)

※上段は指数、下段は対前年増減率(単位:%)

出勤日数の下段は対前年増減差(単位:日)

2 賃金の動き

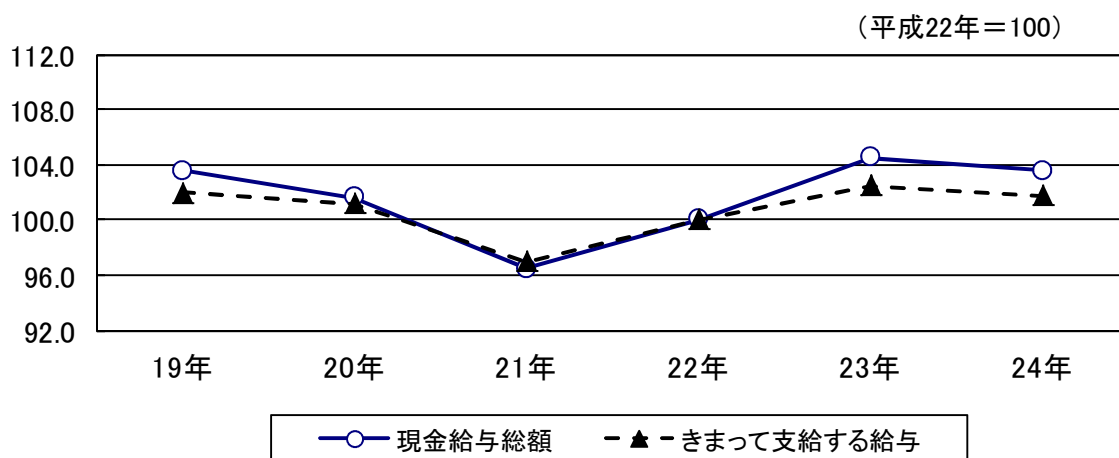
平成24年の常用労働者1人当たり月平均の「現金給与総額」は、調査産業計で295,212円（対前年比0.9%減）となり、3年ぶりに減少している。

そのうち、「きまって支給する給与」は247,230円（対前年比0.7%減）、賞与等の「特別に支払われた給与」は47,982円（対前年比3.2%増）であった。

「きまって支給する給与」のうち「所定内給与」は229,315円（対前年比1.3%減）、また、「所定外給与(超過労働給与)」は17,915円（対前年比13.0%増）であった。

（以上図2、表2参照）

図2 賃金指数の推移(調査産業計、事業所規模5人以上)



(1) 産業別の比較

「現金給与総額」が最も高いのは教育、学習支援事業の415,135円で、最も低いのは宿泊業、飲食サービス業の118,882円であった。

「きまって支給する給与」が最も高いのは教育、学習支援業の329,057円で、最も低いのは宿泊業、飲食サービス業の112,656円であった。

「所定外給与」が最も高いのは運輸業、郵便業の36,523円で、最も低いのは宿泊業、飲食サービス業の5,136円であった。前年との差が最も増加したのは運輸業、郵便業の9,268円増で、最も減少したのはサービス業の4,688円減であった。

「特別に支払われた給与」が最も高いのは金融業、保険業の95,273円で、最も低いのは宿泊業、飲食サービス業の6,226円であった。前年との差が最も増加したのは運輸業、郵便業の35,271円増で、最も減少したのは教育、学習支援業の25,975円減であった。

（以上表2、図3参照）

(2) 事業所規模別の比較

「現金給与総額」について全国平均(314,127円)を100として、事業所規模別に比較すると、事業所規模5~29人(248,290円)は79.0となり、事業所規模30~99人(300,864円)は95.8となり、事業所規模100人以上(352,985円)は112.4であった(表2)。

(3) 全国平均との比較

「現金給与総額」について全国平均（314,127円）と本県（295,212円）を比べると金額では18,915円下回り、全国平均を100とすると、本県は94.0であった。

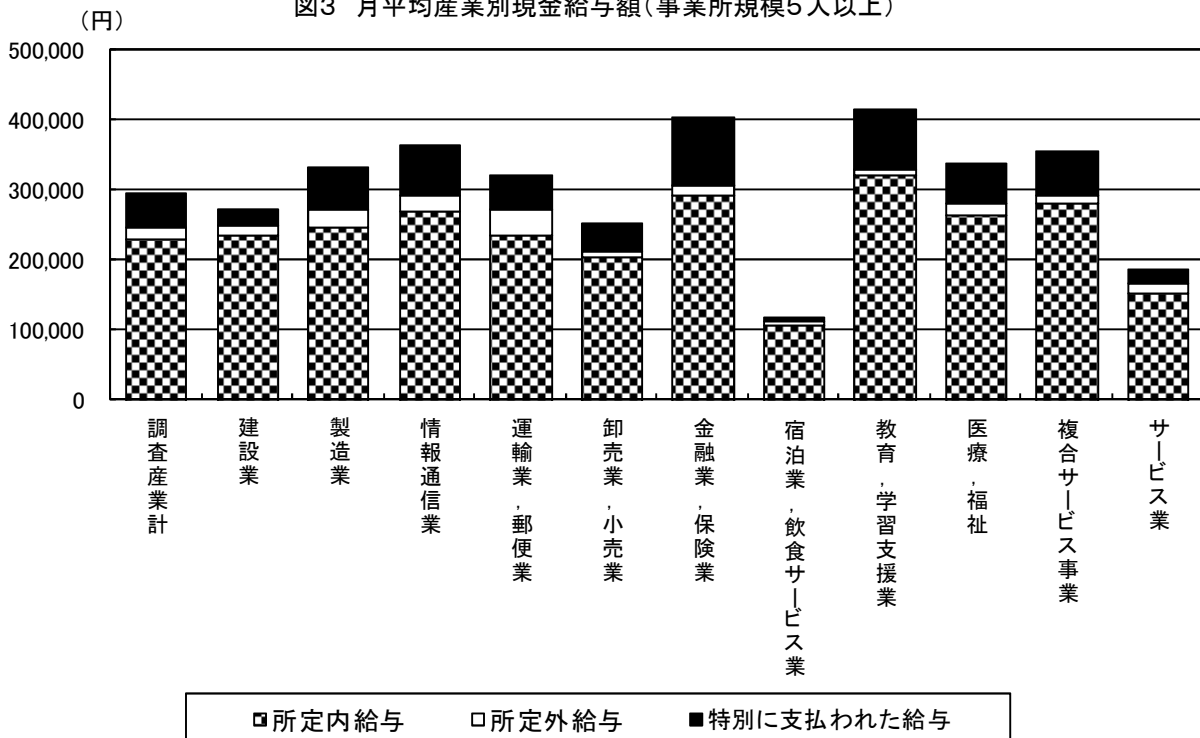
また、対前年比は本県が0.9%減、全国平均は0.7%減となっている（表2）。

表2 賃金の動き(事業所規模5人以上)

	現金給与総額		きまって支給する給与						特別に支払われた給与			
					所定内給与		所定外給与					
	対前年比		対前年比		対前年比		対前年差	対前年比	対前年差	対前年比		
調査産業計	円	%	円	%	円	%	円	円	%	円	円	%
	295,212	△ 0.9	247,230	△ 0.7	229,315	△ 1.3	17,915	2,064	13.0	47,982	1,510	3.2
	94.0		94.5		94.4		95.5			91.3		
建設業	274,370	△ 3.7	250,439	△ 5.1	235,794	△ 4.1	14,645	△ 2,497	△ 14.6	23,931	4,002	20.1
製造業	334,264	0.9	272,809	4.1	246,765	5.5	26,044	△ 1,303	△ 4.8	61,455	△ 4,553	△ 6.9
情報通信業	364,517	14.2	293,514	6.7	269,748	5.0	23,766	5,819	32.4	71,003	30,981	77.4
運輸業、郵便業	322,918	1.5	272,920	△ 9.5	236,397	△ 12.8	36,523	9,268	34.0	49,998	35,271	239.5
卸売業、小売業	253,282	8.0	213,932	7.4	204,419	6.4	9,513	2,999	46.0	39,350	7,050	21.8
金融業、保険業	403,525	1.5	308,252	△ 3.6	292,612	△ 5.0	15,640	3,568	29.6	95,273	19,206	25.2
宿泊業、飲食サービス業	118,882	△ 4.1	112,656	△ 5.0	107,520	△ 5.2	5,136	31	0.6	6,226	646	11.6
教育、学習支援業	415,135	△ 12.4	329,057	△ 7.4	322,782	△ 8.7	6,275	4,323	221.5	86,078	△ 25,975	△ 23.2
医療、福祉	338,458	5.3	281,100	6.6	265,641	5.2	15,459	4,483	40.8	57,358	2,656	4.9
複合サービス事業	354,479	△ 10.7	293,282	△ 10.3	280,304	△ 10.2	12,978	△ 454	△ 3.4	61,197	△ 1,740	△ 2.8
サービス業	186,583	△ 19.4	167,618	△ 15.6	153,852	△ 15.9	13,766	△ 4,688	△ 25.4	18,965	△ 19,091	△ 50.2
事業所規模別 調査産業計												
5~29人	248,290	-	215,225	-	204,541	-	10,684	-	-	33,065	-	-
	79.0		82.3		84.2		56.9			62.9		
30~99人	300,864	-	251,496	-	232,025	-	19,471	-	-	49,368	-	-
	95.8		96.1		95.6		103.8			94.0		
100人以上	352,985	-	286,284	-	260,053	-	26,231	-	-	66,701	-	-
	112.4		109.4		107.1		139.8			126.9		
全国平均 調査産業計	314,127	△ 0.7	261,585	△ 0.1	242,824	△ 0.2	18,761	-	2.4	52,542	-	△ 3.3
	100		100		100		100			100		

対前年比は、指数により算出している。(ただし、「所定外給与」、「特別に支払われた給与」を除く。)

図3 月平均産業別現金給与総額(事業所規模5人以上)



3 労働時間の動き

平成24年の常用労働者1人当たり月平均の「総実労働時間」は、調査産業計で154.4時間（対前年比0.1%減）となり、3年ぶりに減少している。

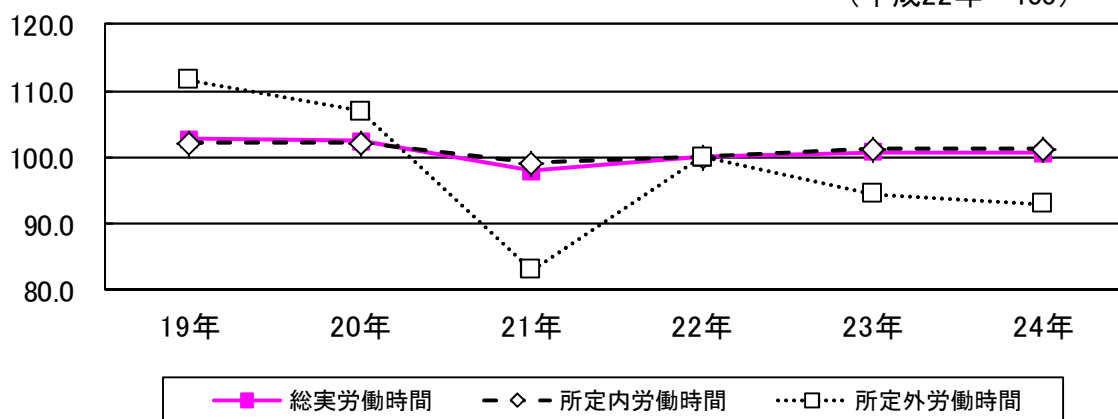
そのうち、「所定内労働時間」は144.7時間（対前年比0.1%減）、「所定外労働時間」は9.7時間（対前年比1.7%減）であった。

「出勤日数」は調査産業計で月平均19.8日（対前年差0.1日減）であった。

（以上図4、表3参照）

図4 労働時間指数の推移（調査産業計、事業所規模5人以上）

（平成22年=100）



(1) 産業別の比較

「総実労働時間」が最も長いのは建設業の175.3時間で、最も短いのは宿泊業、飲食サービス業の111.8時間であった。建設業と宿泊業、飲食サービス業との差は63.5時間であった（表3）。

「所定内労働時間」が最も長いのは建設業の165.5時間で、最も短いのは宿泊業、飲食サービス業の106.3時間であった（表3）。

「所定外労働時間」が最も長いのは運輸業、郵便業の20.9時間で、最も短いのは医療、福祉の3.9時間であった（表3）。

「出勤日数」が最も多いのは建設業の22.4日で、最も少ないのは宿泊業、飲食サービス業の17.6日であった（表3）。

(2) 事業所規模別の比較

「総実労働時間」について全国平均（147.1時間）を100として事業所規模別に比較すると、事業所規模5～29人（150.7時間）は102.4となり、事業所規模30～99人（157.7時間）は107.2となり、事業所規模100人以上（156.5時間）は106.4であった（表3）。

「所定外労働時間」について全国平均（10.4時間）を100として事業所規模別に比較すると、事業所規模5～29人（7.7時間）は74.0となり、事業所規模30～99人

(3) 全国平均との比較

「総実労働時間」について全国平均（147.1時間）と本県（154.4時間）を比べると時間では7.3時間上回り、全国平均を100とすると、本県は105.0であった。

また、対前年比は本県が0.1%減であったが、全国平均は0.5%増となっている（表3）。

「所定外労働時間」について全国平均（10.4時間）と本県（9.7時間）を比べると、時間では0.7時間下回り、全国平均を100とすると、本県は93.3であった。

また、対前年比は本県が1.7%減であったが、全国平均は0.6%増となっている（表3）。

表3 労働時間の動き（事業所規模5人以上）

	総実労働時間						出勤日数	
	対前年比		所定内労働時間		所定外労働時間		対前年差	
			時間	%	時間	%		
調査産業計	154.4	△ 0.1	144.7	△ 0.1	9.7	△ 1.7	19.8	△ 0.1
	105.0		105.9		93.3		103.7	
建設業	175.3	△ 1.6	165.5	0.1	9.8	△ 21.0	22.4	0.6
製造業	164.6	△ 0.1	151.7	0.7	12.9	△ 8.1	19.8	0.2
情報通信業	163.9	1.5	147.3	△ 1.1	16.6	28.1	19.3	0.3
運輸業, 郵便業	172.6	△ 8.6	151.7	△ 13.8	20.9	41.6	19.6	△ 2.1
卸売業, 小売業	148.8	2.4	142.3	1.2	6.5	38.4	20.4	0.3
金融業, 保険業	155.2	3.4	146.5	2.6	8.7	17.2	19.2	0.4
宿泊業, 飲食サービス業	111.8	△ 1.0	106.3	△ 1.5	5.5	11.0	17.6	△ 0.2
教育, 学習支援業	145.6	0.7	140.1	4.4	5.5	△ 50.7	18.8	1.0
医療, 福祉	153.8	5.2	149.9	5.0	3.9	3.1	20.2	0.0
複合サービス事業	155.4	1.0	148.6	2.6	6.8	△ 26.3	19.8	0.9
サービス業	146.1	2.4	133.7	2.7	12.4	△ 4.1	19.3	△ 0.3
事業所規模別 調査産業計								
5~29人	150.7	—	143.0	—	7.7	—	20.2	—
	102.4		104.6		74.0		105.8	
30~99人	157.7	—	147.0	—	10.7	—	19.7	—
	107.2		107.5		102.9		103.1	
100人以上	156.5	—	144.9	—	11.6	—	19.5	—
	106.4		106.0		111.5		102.1	
全国平均								
調査産業計	147.1	0.5	136.7	0.5	10.4	0.6	19.1	0.1
	100		100		100		100	

対前年比は、指数により算出している。

4 雇用の動き

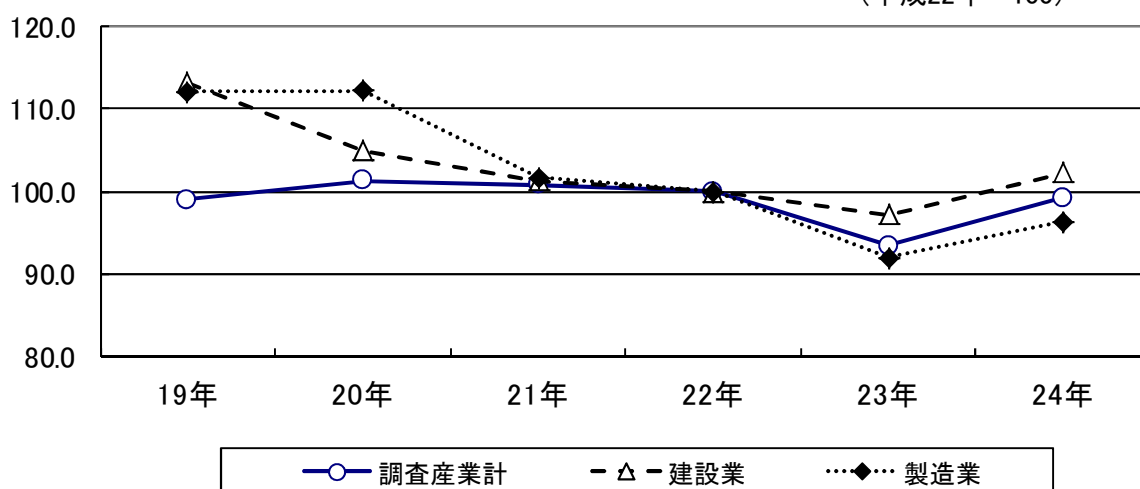
平成24年の月平均の常用労働者数（推計）は、調査産業計で652,725人となり、常用雇用指数（平成22年平均=100）は99.2、前年比6.2%増であった。常用雇用指数は4年ぶりに増加している。

産業構成比では製造業（153,636人、23.5%）が最も高いウェイトを占め、以下卸売業、小売業（110,818人、17.0%）、医療、福祉（87,564人、13.4%）と続いている。

（以上図5、表4参照）

図5 常用雇用指数の推移（調査産業計、事業所規模5人以上）

（平成22年=100）



(1) パートタイム労働者

パートタイム労働者数（推計）は、調査産業計で146,382人となり、パートタイム労働者比率は22.4%、前年差0.7ポイント減であった。

産業別に比較すると、パートタイム労働者比率が最も高いのは宿泊業、飲食サービス業の74.0%で、最も低いのは建設業の2.9%であった。（表4）。

(2) 労働異動率

労働異動率は、調査産業計で入職率、離職率は共に1.9%であった。

産業別にみると、建設業、運輸業、郵便業、宿泊業、飲食サービス業等、教育、学習支援業、医療、福祉で入職率が離職率を上回り、製造業、情報通信業、金融業、保険業、複合サービス事業、サービス業では入職率が離職率を下回った。

卸売業、小売業では、入職率と離職率が同じであった（表4）。

(3) 事業所規模別の比較

「常用労働者数」について事業所規模別に比較すると、事業所規模5～29人は273,099人、事業所規模30～99人は175,045人、事業所規模100人以上は、204,580人であった（表4）。

(4) 全国平均との比較

「常用労働者数」について、対前年比は本県（652,725人）が6.2%増、全国平均（45,757千人）は0.7%増となっている（表4）。

表4 雇用の動き（事業所規模5人以上）

	常用労働者数			パートタイム労働者数			労働異動率	
	対前年比	産業構成比		労働者比率	対前年差	入職者	離職者	
	人	%	%	人	%	ポイント		
調査産業計	652,725	6.2	100.0	146,382	22.4	△ 0.7	1.9	1.9
建設業	48,044	5.4	7.4	1,402	2.9	△ 0.1	1.4	0.9
製造業	153,636	4.8	23.5	17,286	11.3	△ 0.6	1.1	1.2
情報通信業	6,323	17.1	1.0	659	10.4	△ 6.4	1.6	2.0
運輸業、郵便業	49,419	11.5	7.6	7,870	15.9	9.1	1.4	1.2
卸売業、小売業	110,818	0.2	17.0	39,459	35.6	△ 11.2	1.8	1.8
金融業、保険業	15,468	△ 7.1	2.4	1,403	9.1	△ 2.6	1.9	2.4
宿泊業、飲食サービス業	43,459	7.5	6.7	32,205	74.0	2.8	4.7	4.6
教育、学習支援業	36,365	0.7	5.6	4,597	12.6	△ 6.5	3.3	2.7
医療、福祉	87,564	13.3	13.4	9,460	10.8	△ 5.9	1.7	1.4
複合サービス事業	5,389	72.1	0.8	621	10.7	△ 1.2	3.3	5.1
サービス業	53,475	10.1	8.2	20,540	38.5	19.8	2.3	2.7
その他	42,765	—	6.6	10,880	—	—	—	—
事業所規模別 調査産業計								
5～29人	273,099	—	—	71,387	26.2	—	—	—
30～99人	175,045	—	—	33,600	19.2	—	—	—
100人以上	204,580	—	—	41,395	20.2	—	—	—
全国平均								
調査産業計	45,757千人	0.7	—	13,166千人	28.77	0.58	2.03	2.04

対前年比は、指数により算出している。

※1 産業構成比は、小数点第2位で四捨五入している。

※2 パートタイム労働者比率及び労働異動率の年平均については、1月分から12月分の数値を単純平均している。

5 就業形態別（一般労働者とパートタイム労働者）の比較

(1) 賃金の比較

常用労働者1人当たり月平均の「現金給与総額」は295,212円となっているが、これを就業形態別にみると、一般労働者が352,799円、パートタイム労働者が96,332円であった。この額を一般労働者を100として比較すると、パートタイム労働者は27.3であった。

また、「きまって支給する給与」は一般労働者が291,750円、パートタイム労働者が93,476円、「特別に支払われた給与」は一般労働者が61,049円、パートタイム労働者が2,856円であった（表5）。

表5 就業形態別賃金比較（調査産業計、事業所規模5人以上）

（下段は一般労働者=100としたときの比較）

	現金給与総額	きまって支給する給与	所定内給与	所定外給与	特別に支払われた給与
	円	円	円	円	円
一般労働者	352,799	291,750	269,594	22,156	61,049
	100	100	100	100	100
パートタイム労働者	96,332	93,476	90,211	3,265	2,856
	27.3	32.0	33.5	14.7	4.7
常用労働者全体	295,212	247,230	229,315	17,915	47,982

(2) 労働時間の比較

常用労働者1人当たり月平均の「総実労働時間」は154.4時間となっているが、これを就業形態別に見ると、一般労働者が169.0時間、パートタイム労働者が104.0時間であった。この時間を一般労働者を100として比較すると、パートタイム労働者は61.5であった。

また、「所定内労働時間」は一般労働者が157.5時間、パートタイム労働者が100.2時間、「所定外労働時間」は一般労働者が11.5時間、パートタイム労働者が3.8時間、「出勤日数」は一般労働者が20.6日、パートタイム労働者が17.3日であった（表6）。

表6 就業形態別労働時間比較（調査産業計、事業所規模5人以上）

（下段は一般労働者=100としたときの比較）

	総実労働時間	所定内労働時間	所定外労働時間	出勤日数
	時間	時間	時間	日
一般労働者	169.0	157.5	11.5	20.6
	100	100	100	—
パートタイム労働者	104.0	100.2	3.8	17.3
	61.5	63.6	33.1	—
常用労働者全体	154.4	144.7	9.7	19.8

6 男女別の比較

(1) 賃金の比較

常用労働者1人当たり月平均の「現金給与総額」を男女別にみると、男性が363,375円、女性が208,951円であった。この額を男性を100として比較すると、女性は57.5であった。

また、「きまって支給する給与」は男性が302,206円、女性が177,657円、「特別に支払われた給与」は男性が61,169円、女性が31,294円であった（表7）。

(2) 労働時間の比較

常用労働者1人当たり月平均の「総実労働時間」を男女別にみると、男性が166.2時間、女性が139.6時間であった。この時間を男性を100として比較すると、女性は84.0であった。

また、「所定内労働時間」は男性が152.9時間、女性が134.3時間、「所定外労働時間」は、男性が13.3時間、女性が5.3時間、「出勤日数」は男性が20.3日、女性が19.3日であった（表7）。

表7 男女別賃金・労働時間比較（調査産業計、事業所規模5人以上）

（下段は男=100としたときの比較）

	賃 金			労 働 時 間			
	現金給与総額	きまって支給する給与	特別に支払われた給与	総実労働時間	所定内労働時間	所定外労働時間	出勤日数
	円	円	円	時間	時間	時間	日
男	363,375	302,206	61,169	166.2	152.9	13.3	20.3
	100	100	100	100	100	100	—
女	208,951	177,657	31,294	139.6	134.3	5.3	19.3
	57.5	58.8	51.2	84.0	87.8	39.8	—
常用労働者全体	295,212	247,230	47,982	154.4	144.7	9.7	19.8

(3) パートタイム労働者比率の比較

常用労働者全体でのパートタイム労働者比率は22.4%となっているが、これを男女別にみると男性が10.4%、女性が37.6%であった。

産業別にみると、教育、学習支援業、複合サービス事業を除くすべての業種で女性が男性を上回った（表8）。

表8 男女別パートタイム労働者比率（事業所規模5人以上）

（単位：％）

	調査産業計	建設業	製造業	情報通信業	運輸業、郵便業	卸売業、小売業
男女計	22.4	2.9	11.3	10.4	15.9	35.6
男	10.4	1.6	3.3	5.9	13.7	11.5
女	37.6	11.9	26.2	22.4	32.3	60.5
	金融業、保険業	宿泊業、飲食サービス業	教育、学習支援業	医療、福祉	複合サービス事業	サービス業
男女計	9.1	74.0	12.6	10.8	10.7	38.5
男	5.3	59.5	14.7	7.6	11.7	14.1
女	12.7	82.0	10.0	11.7	9.4	63.2